



並木中等進路だより

NO.4
JULY 23, 2014

前期生

茨城県立並木中等教育学校 学習進路部

並木中等生の学習状況

並木中等生は入学してからぐんぐん成績を伸ばしていますが、家庭学習時間はいったいどれくらいなのか、前期課程の「学力推移調査」から結果を載せておきます。



【家庭学習時間】(分)

	2014・4月 全国平均	2014・4月 並木中等	2013・10月 並木中等	2013・4月 並木中等	2012・10月 並木中等	2012・4月 並木中等
1年(平日)	101	115				
1年(休日)	151	197				
2年(平日)	81	102	121	117		
2年(休日)	139	199	221	196		
3年(平日)	70	111	89	103	120	106
3年(休日)	119	182	170	186	197	172

今回の調査では、平日は1年次生が一番勉強しているが休日は3年次生が一番勉強していないという結果になっています。「学力推移調査」は高校入試のない中高一貫校生向けのものであるため、全国平均もその傾向はあるようです。しかしながら、普通の中学3年生なら今頃は、部活も引退し気持ち新たに1日数時間は勉強します。家庭学習への意欲は、高校受験のない中等生にとって最重要課題のひとつです。ぜひご家庭でのご協力をお願いいたします。

他にも、生徒たちの学習状況を知る資料がいくつかありました。

【学習についての今の気持ち】(人)

	1年次	2年次	3年次
楽しくてやる気に満ちている	24	4	5
頑張って今の成績を伸ばしたい	92	77	98
どうしたらいいかわからず悩んでいる	14	38	26
楽しくないがとにかく勉強している	27	23	24
したくないが仕方なしにしている	2	13	4
勉強が無意味に思える	1	5	2

【進路についての保護者の受け止め方】(人)

	2年次	3年次
自分の考えを尊重し十分理解してくれている	49	52
自分の考えを聞いてほぼ理解してくれている	26	49
考えは伝えたがあまり理解してくれない	4	9
保護者から任されている	16	12
ほとんど話し合ったことがない	64	37

並木中等では課題がたくさん出ますが、1年間学習を続けた2年次生は、その感想が率直に現れているようです。3年次生は意欲が高いですが、おそらく自分の学習方法を確立させ、奮起しているのでしょう。進路については、学年が進むにつれ保護者の方ときちんと話し合う傾向がみられます。目標をもつことが学習意欲を高めることにもつながりますので、ぜひこの夏休みにお子さんとじっくり将来について話し合う機会をお持ち下さい。

【生徒間の学力差が見られる時期】

	上昇する生徒	下降する生徒
《変動期(1年次)》	授業理解度が高い。各教科の学習方法を理解し実践している。 家庭学習にきちんと取り組む。	課題をやらなかつたり、できないところをそのままにする。
《維持期/中だるみ(2年次~4年次)》	自分の学習方法を確立し、継続している。 授業・宿題・復習の学習ができる	家庭学習時間が減少。学習方法に自信が持てない。悩みが多い。
《拡大期(4年次~6年次)》	家庭学習時間が増加。 「予習・授業・復習」+αのサイクルができています。	各教科の自分にあった学習方法がわかっていない。

ぐ〜んと差のつく夏休みにやるべきことは何？



規則正しい生活を送る

夏休みだからといって絶対に夜更かしや寝坊をしない。ふだん学校で授業を受けているときと同じように過ごすのがベスト。もし家にいる時は、午前中3時間、午後3時間、夜3時間を目標して学習しましょう。

計画を立てる

夏休みの40日は長くも短くも感じられます。毎日が無計画に過ごしていたら自分を伸ばすチャンスを失い、非常に後悔することになります。ぜひ計画を立てて過ごしましょう。ただし週に1日予備日を設けて計画の修正をしたり、好きなことをする日に設定したりなど、自己管理能力を発揮して「やるべきことをやれた夏休みだった」と言えるようにしましょう。

課題にしっかりと取り組む

まずは夏休み課題が最優先。課題に追い立てられるのではなく、課題を利用して自分の実力を伸ばすことを考える。ひと夏で学力のすごく伸びる人が何人も出てくるはず。自分に合った学習方法を確立しましょう。

苦手科目・苦手分野を克服する

夏こそ苦手科目・苦手分野克服のチャンス。目標を持って自分の決めたハードルを必ずクリアしてください。KK 週間や課外なども大いに利用しましょう。

ふだんやれないことをやる

自由研究や一人一研への取り組みなど、ふだんできないこともやれるのが夏休み。今年の夏休みに行った自由研究が将来あなたのノーベル賞受賞のきっかけになるかも！

学習記録を残す

何時間勉強したか、計画通り学習できたかを毎日振り返り、記録する。記録することで自分の計画の修正もしやすくなるし、一步一步着実に向上することができるはず。「昨日より今日、今日より明日」を目指すため、スコラに記録してふり返ろう！

早朝学習のすすめ

休日になると、いや毎日学校がある日でさえ、朝起きるのが超苦手という人がいます。でももったいない。寝てる間に時間が過ぎていくなんで…。夏休みこそ早起きしよう !!

【朝型学習の利点】

1. 夏の朝は涼しく清々しい。静かで小鳥の音が…。
2. 睡眠後なので疲れが取れていて、集中できる。
3. TV やメール(ライン)を気にしなくて済む。一人の時間が持てる。
4. 朝食を落ち着いて食べることができ、脳の働きが良くなる。
5. おうちの方はその姿を見てニッコリ、おやつがふえる(?)。

【夜型だと…】

1. 暑さが残り、だるく感じがち。
2. 疲れて意欲がわかず、早く寝たいと思う気持ちで集中しにくい。
3. 一度メールを返信したらエンドレス～(だれか終わって～、勉強しなきゃ…)
4. 家族が見ているTVがおもしろそう…、のども乾いたしちょっと見てこよう…、あーもうこんな時間だあ…。
5. おうちの方は怒鳴ってばかり…そんなふうに誰がした？ あなたでは？

【ひとこと】

9月以降に伸びた生徒の、夏休みにもっとも時間を割いた学習は？ とたずねると、90%以上が基礎・苦手克服のためのていねいなくり返し学習だそうです。この夏を乗り切ろう!!